

第148回

岩手朝日テレビ放送番組審議会

議 事 録

(平成23年5月)

2011.5.25

株式会社 岩手朝日テレビ

第148回 放送番組審議会議事録

1. 開催日時 平成 23年 5月 25日 (水) 11時～
2. 開催場所 岩手朝日テレビ 3階 会議室
3. 委員の出席

委員総数 7名

出席委員数 5名

委員長	増子 義孝
副委員長	村田 久
委員	小田島 利昭
委員	笠川 さゆり
委員	そのだ つくし

欠席委員数 2名

委員	弭間 俊則
委員	吉田 政司

会社側出席者名

代表取締役社長	富永 健治
専務取締役	辻 一成
取締役総務局長	小林 直紀
取締役	長生 正広
技術局長	作山 聖志
報道制作局長	佐々木 貴
報道制作部長	鈴木 敦
編成業務局長兼放送番組審議会事務局長	落合 成範
番組審議会事務局	佐藤 清一

4. 議 題

(1) 合評番組

「続・命てんでんこ」

(2) 6月単発番組について

(3) 次回審議会

開 催 日：平成23年6月30日(木) 11時～

岩手朝日テレビ 3階 会議室

合評課題：開局15周年記念番組「十五のころ」

放送日時：毎週水曜日20時54分～ 日曜日13時55分～(再放送)

5. 概 要

- ※ 富永社長より、昨年度に放送した1作目の「命てんでんこ」が2010年度テレメンタリー優秀賞を受賞した旨報告があった。
- ※ 落合事務局長から、6月の単発番組と7月の視聴率の説明がされた。
- ※ 震災関連で視聴者の関心度がニュースに集まりNHKがゴールデン、プライムの1位を獲得した。
- ※ 田老町の自慢の堤防がいとも簡単に津波で破壊され甚大な被害を受けた。生まれた所にもう住みたくない気持ちと、離れたくない胸中の複雑な葛藤がある。
- ※ 「命てんでんこ」活動で命を救われた事実と、大堤防への過度の安心感から多くの命が奪われた人間の甘さを認識せざるを得ない。
- ※ このドキュメンタリーは、今回の地震で自慢の堤防が役に立たなかった事に関し今後の復興計画にも影響する。
- ※ 「命てんでんこ」の意志を、何らかの形で引き継いで行かなければならない。
- ※ いつ来るか予測できない災害が、今回このような形で起きたことは、ショックである。
- ※ 震災から2ヶ月経て今だから話せるということも出ている。
- ※ 今回の震災によって多くのドラマを背負って多くの人が生きている。

6. 議事の内容

落合事務局長 それでは、只今より、第148回岩手朝日テレビ放送番組審議会を始めます。

 それでは、増子委員長、議事をお願いいたします。

増子委員長 それでは富永社長、一言お願いします。

富永社長 本日もお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。

 大震災から2カ月以上経ちましたが、ライフラインの復旧や仮設住宅の建設などまだまだ進んでおりません。

 他にも多くの課題がありますが、マンパワーとお金の問題、また政府や行政の縦割りの問題など先行きが見えない状況下であります。

 そんな状況の中、被災された沿岸の方々がなんとか自分たちの力で復興して行こうという姿が報道されていますが、自分だったらあの方々のようにすぐ立ち上がることができるかどうか考えさせられる毎日です。

 昨年度放送しました「命てんでんこ」が2010年度のテレメンタリー優秀賞を受賞致しました。本日の合評課題はその続編であります。どうぞ忌憚のないご意見をお願い申し上げます。

増子委員長 ありがとうございました。何かご質問等ございませんか？
 ないようですので、視聴率と単発番組についてお願いします。

落合事務局長 では6月の単発番組と視聴率についてお話しさせていただきます。1日19時から「キリンカップサッカー2011」の放送を致します。日本対ペルーの試合の模様を東北電力ビッグワスタジアムよりお送りいたします。5日、日曜日にはリゾートトラストレディスゴルフの模様を軽井沢ゴルフクラブより、13日から、純情応援歌2011を月曜日から金曜日までの18時50分から19時まで放送いたします。7月14日開幕する高校野球岩手県大会へ向けての各高校の選手が自ら作った作品をどうぞご覧下さい。

 17日金曜日から20日月曜日まで全米オープンゴルフの模様をお送りします。石川遼が世界ランク49位でどのあたりに入ってくるかが見ものでございます。

 26日にはスーパーベースボール阪神対巨人戦をお送りいたします。30日には夏の高校野球岩手大会の組み合わせ抽選会の模様を中継でお送りいたします。

視聴率ですが、全日で7.9%ゴールデン11.7%プライム12.2%、プライム2は7.6%という数字でありました。4月よりも数字は下げておりますが、前年と比べて0.2%アップしています。テレビに対して関心が高まっているのではと思っております。

NHKさんはゴールデン17.5%プライム14.7%で1位、前年度と比べて0.9%アップしています。震災関連でニュースへの視聴者の関心度は高まっているのではないかと思います。

IATで放送しております報道ステーションは14.4%、ワイドスクランブルなどの報道関係の番組が視聴率の伸びを示しています。

村田副委員長 NHKさんはめずらしくゴールデン、プライム共にアップしているのですね。

落合事務局長 ニュースが始まる19時が一番高い数字を出しています。震災の影響でドラマより報道系に視聴率が高まっています。

増子委員長 報道ステーションも数字を取っておりますね。震災の関係でしょうね。

ほかに何ご質問などございますか。無いようですので合評課題に移ります。

村田副委員長 ナレーターの村上弘明さんの感情を抑えてある声になかなか良かったですね。

8歳の時に津波で家を流された語り部の田畑ヨシさん、現在86歳は3月11日の震災による大津波でまた家を失いました。本人は高台の親せきの家へ逃げて無事だったと。宮古市の田老町の海辺には高さ10メートル、長さ2.4キロメートルの大防波堤があり、堅固な要塞として地元民の自慢であったが、大津波で破壊され、甚大な被害を受けました。もうここには住みたくないと言った田畑さんの胸中は複雑だったと思います。そんな胸の思いが映像を通して伝わりました。

ふるさとを離れたくない。自分の語り部としての役割はまだ続けなければならないのでは。そんな田畑さんの気持ちがよくわかりました。

命てんでんこの活動で命を救われた面もありますが、反面大防波堤への安心感とまさかという人間の甘さで多くの命が奪われたことは事実としてあります。

このドキュメンタリーは、今回の地震による大防波堤がその役割を果たせなかったことについて、われわれは、今後ど

う対処すれば良いのか。大きな課題を突き付けている気がします。このことは行政の在り方、町づくり、テレビの報道の役目にも言えることでしょう。

命てんでんこの田畑さんの意志は今後も何らかの形で受け継いでいかなければならないでしょう。

田畑さんのこれまでのご苦勞にありがとうと言いたい気持ちです。

そのだ委員

先ほども見てきました。番組を見ていて涙が出ました。田畑さんの心理が番組でよくまとまっていた。田畑さんのカメラのアングルも良い位置で映っていましたね。今後地震津波で体験した多くのことが受け継がれ田畑さんの位置づけは大事な人物といえることでしょう。

笠川委員

いつくるかわからない天災。津波がこんなに早く来るとは実際思ってもいないことでした。田畑さんの心情の変化がストレートに伝わりました。

恐怖心からふるさとを去る思いは、いかばかりかと思いました。田畑さんを追っているうちに制作意図するものが映像で伝わりました。今被災地にいる方々の心の変化や、去ろうと思っていたのにされない心の思いなどがうまく出ていました。これからの田畑さんも気にかかるところです。もう一ひねりの制作に期待しています。

小田島委員

震災から2か月が経ち、今だから話せることも出ていましたね。良く撮れていたと思います。またナレーションも田畑さんの心情をうまくとらえて、とても関心が持てました。田畑さんの表情を見ていて思いが伝わりました。

紙芝居の絵と実際の絵が同じでビックリしました。ふるさとを伝えていく番組として、「命てんでんこ」という番組を通して、田畑さんが今まで葛藤してきた部分浮き彫りになっていてよく出来ていました。

家族との結びつきなどもう少し見てみたかったと思います。これからもどんなにかかわり方でもよいので続けてほしい番組の一つです。

増子委員長

この番組はバランスが良くまとまっていました。「ここに住みたくない」と言っていましたが、やっぱり戻ってくるという心理状態をうまく出していましたね。複雑な心境だったと思います。シンボリックに強調して捉えていたと思いますね。

田畑さんが幸せと言っていました。家は流されたけど家族がみんな無事だった。だから幸せ。その気持ちはよくわかり

ます。
今回の震災によって多くの犠牲者が出て、凄まじいドラマを背負って生きている方が多くいます。そのような方々をこれから取り上げて復興への第一歩、希望への道へと繋げてほしいと思います。田畑さんだけに目を向けるのではなく、他にも目を向けてぜひこのような番組を続けてほしいと思います。ほかに言いたいことがある方はどうぞお話し下さい。

そのだ委員 鎌田さん、制作していて鎌田さんの心境はどうでしたか？

報道制作鎌田 田畑さんのその時、その時の変化、心情を細かく映したくて、初めてお会いして、お話しさせていただき、果たしてうまく視聴者に伝わるかどうかとても心配でした。田畑さんが幸せといった表情などを映像でもう少し映し出せばよかったと思いました。

佐々木報道局長

田畑さんが現在どうしているのかとても心配でした。全国放送で田畑さんが生きていることを流しました。作品のクオリティを考えて、とりあえず1か月取材して番組制作を致しました。今現在も取材を継続しています。やじろべえのような心境そのままです。一時、青森の親類のお宅に避難してもう戻らないと言っていたのですが、震災後の1か月後の余震があった後戻ってきました。

また、プライベートなオフショットが映せたので良かったと思います。

村田副委員長 男性ディレクターと女性ディレクターの制作する意図の違いで内容は変わるものですね。

佐々木報道局長 続編も現在取材継続しております。

報道制作鎌田 先ほどもご意見に出ました村上さんのナレーションですが実際は村上さんも陸前高田のご出身で、声を詰まらせていました。胸中は複雑だったと思います。

そのだ委員 実際このような震災が起きて表に出せない映像などもあるのでしょうか。

富永社長 日本の映像の規則は厳しいので慎重に制作してゆかなければいけないのが事実です。

増子委員長 このような大きな震災が起きて、このような取材をして語り継がれていく。大変な事だと思います。
ほかにご意見はないでしょうか。なければ次回についてお願いします。

落合事務局長 では次回についてご説明申し上げます。
次回は、6月30日木曜日の午前11時から弊社3階会議室で開催いたします。合評課題は「十五のころ」です。今回同様、貴重なご意見をお待ち申し上げます。

増子委員長 それでは終了します。ありがとうございました。

7. 審議機関の答申または改善意見に対してとった措置

ご指摘頂いた点を、今後の番組作りの参考とすることとした。

8. 審議機関の答申または意見の概要の公表

5月29日朝日新聞岩手県版に審議概要を掲載。

系列各局に議事録を送付。

本社受付に議事録を常備、閲覧に供す。

インターネットホームページに掲載。

9. その他の参考事項

特になし

10. 配布資料

◎ 6月単発番組編成予定表

◎ 5月岩手地区視聴率